

令和4年度 大館市立花岡小学校 学校評価書( 前期 (年度) )

A 学校教育目標

自立した子どもを育てる	
めざす児童像	人を大切にする子 学びを楽しみ、広げ深める子 チャレンジングな子

B 本年度の重点目標

◎ 課題対応能力の育成
-------------

C 学校経営の特徴

◇課題対応能力を育成する学校行事、児童会活動(チャレンジ活動) ◇明るく楽しい学級づくり ◇チャレンジ授業とベーシック授業 ◇開かれた学校づくり
---



ココロの授業(ファミリーネットワーク)



全校「ハートフル福祉体験」



命の授業(助産院イスキア)



ミュージカル「シンドバットの大冒険」  
(文化庁子ども育成総合事業)

D 評価

アンケート回答者 保護者37名、児童4、5、6年生34名、教職員10名

自己評価Aと外部評価の区分	きわめて良好	自己評価Bの標準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 人を大切にする子どもの育成

健康な心と体をつくらうとするとともに、規範意識をもって自他の心や人間関係等を大切にする人間尊重の精神を育んでいる。	自己評価A		学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	おおむね良好	おおむね良好	家庭と連携しながら生活改善や健康づくりに工夫して取り組んでいる。今後は体力向上につながる取組や清掃への意欲に向けた取組を充実させてほしい。また、児童一人一人のよさや個性の伸長を図りながら個々の課題への支援をお願いしたい。
年度	おおむね良好	良好	アンケートの数値は80%には届いていないが、保護者アンケートの記述やヒアリングからよい状況が感じられる。児童のヒアリングや授業の様子からも、人間関係のよさが伝わってくる。不登校児童ゼロは素晴らしい。学級での居場所や活躍の場の確保がチャレンジ活動ともリンクして成長に表れている。縦割り班活動もとてもよい。自分のクラス以外の人との関わりがいろいろな心の成長につながってくると感じる。	

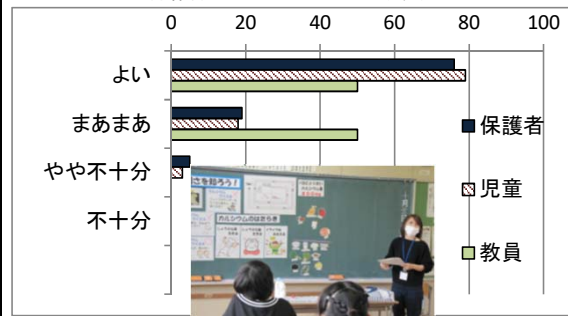
【前期(→年度)】  
 栄養士の先生を招いての食育指導や、学校歯科医による歯みがき指導など、外部の方による指導の際には、事前に声をかけて、保護者にも参加してもらえるような体制づくりを心がけたい。スポーツ委員会が企画したドッジボール大会は、運動に取り組む意欲を高めるという意味で、有効だった。2学期は体力向上のために、なわとび大会やマラソン大会など、目標をもって運動に取り組めるような企画を児童会に考えてもらいたいと思っている。また、縦割り班活動を通して、協力して掃除をしたり、ドッジボール大会に参加したりとよりよい人間関係をつくることができている。ただ清掃に関しては、班長を中心にがんばっているものの、班によって清掃の力量に差があることも確かである。班長に声をかけながら、上手く指導していきたく。

【年度(→次年度)】  
 命の授業、薬物乱用防止教室、食育等専門の先生に指導していただいたことは、説得力があり効果的であった。「ペロリ賞」は残さず食べることで生活習慣の向上や残食を減らすSDGsの面からもよい取組となった。休み時間には異学年でのドッジボール遊び等子ども同士の関わり合う姿が見られた。前期の課題だった清掃に関しては、班長会議の実施や担当教師の支援を通してどの班も積極的に清掃する姿が見られるようになり、6年生の班長のリーダーシップも向上した。次年度への体力向上に関わっては、スキー授業後の体育のなわとび運動の工夫や運動委員会のなわとび運動企画を通して効果的に進めていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 心身の健康づくり	(1)生活習慣向上に向けた実践	生活習慣指導、食育指導、保健・健康教育等	3	3
	(2)継続的な体力づくりの取組と体力の向上	体力検定・なわとび運動等 多様な遊びの奨励		
	(3)集団の一員としての自覚ある言動	縦割り班活動・委員会活動・学校行事等での活動		
2 人間尊重の精神	(4)明るさ・活力・自他を大切にする学級づくり	学級指導・学級活動の充実 こども哲学	3	3

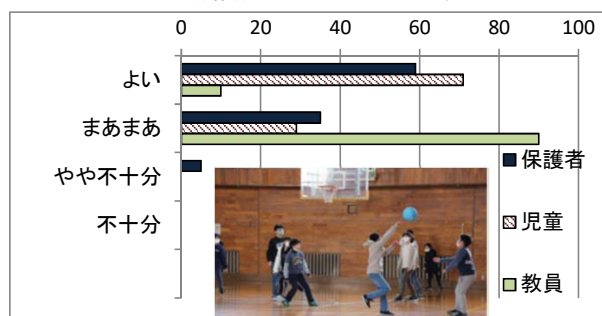
【1に関するデータ】  
 【保護者アンケート自由記述より】  
 ・毎日楽しそうに学校に行く姿を見て親としてうれしく思っている。  
 ・子どもたちの安全で健康な学校生活に気を配っていただきありがとうございます。

○生活習慣向上に向けた取組を行っているか。  
 (平均値 保護者3.70 児童3.76 教員3.50)



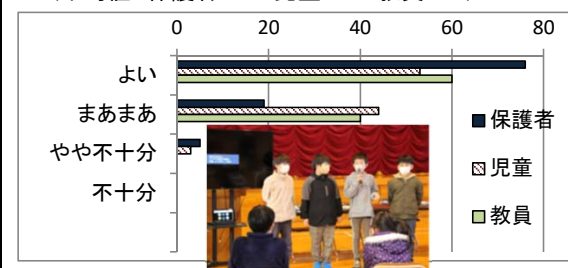
【栄養教諭による食育授業】

○継続的な体力作りに努めているか。  
 (平均値 保護者3.54 児童3.71 教員3.10)



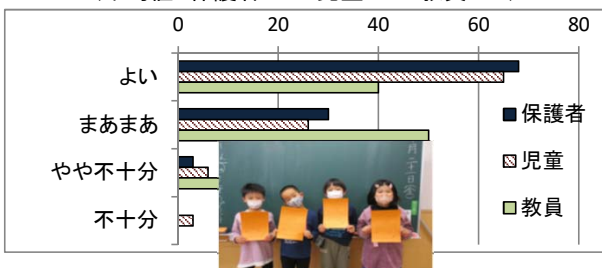
【縦割り班でのドッジボール大会】

【2に関するデータ】  
 ○集団の一員として自覚ある言動をしているか。  
 (平均値 保護者3.70 児童3.50 教員3.60)



【次年度のチャレンジ提案】

○明るく活力ある学級づくりが行われているか。  
 (平均値 保護者3.65 児童3.53 教員3.30)



【掃除の神様で表彰】

## Ⅱ 学びを楽しみ、広げ深める子どもの育成

内発的動機付けに支えられた学びを楽しむとともに、互いの考えを共有したり多角的に考えたりするなど、学びを深める指導を行っている。	自己評価A 学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
	前期	おおむね良好	おおむね良好
年度	おおむね良好	おおむね良好	基礎学力、学習習慣についての保護者の数値が他の設問より低く、ここ数年の比較でも低い。どの子どもにも必要な計算、漢字、読み書きが定着するように、ベーシック授業の充実にもより期待したい。読書に関しては、家庭の中でも読書に向かう時間が作り出せるように工夫することで、学校と家庭双方から読書へのアプローチができるのではと感じる。

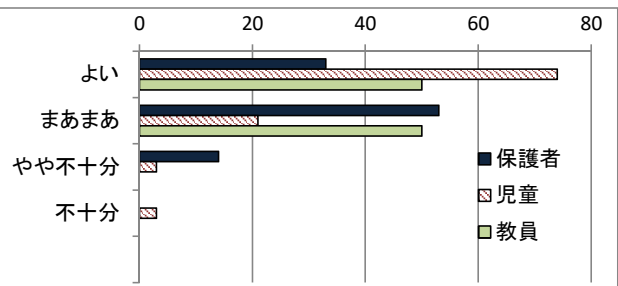
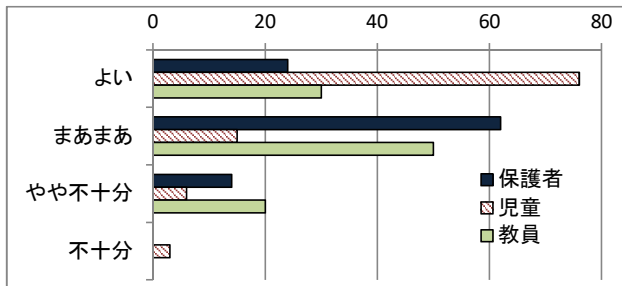
自己評価の改善の概要と	【前期(→年度)】 教師集団の、チャレンジ授業の伝授・チャレンジ授業への挑戦に意気込みが感じられた。子どもたちの学びが充実するよう、よりスキルを高めていきたい。読み聞かせ活動に関しては読書活動が充実したと言えるが、図書室での読書の機会を増やしたり、毎日の読書タイムや週末読書を大事にして本好きの子どもたちを増やし、読む力を付けられるよう取り組みたい。そして、今後も継続し、学校での取組の様子をどんどん家庭に発信していきたい。また、家庭学習ノートの内容を充実させるために、これからもノート展でお互いのノートを見合う機会を大事に取り組みませたい。
	【年度(→次年度)】 どの学年もチャレンジ授業にチャレンジし、「教師は話しすぎない」「子ども同士の学び合いを大事に」と目標をもって取り組んだ。しかし、児童の姿勢や発表の仕方等の基本的な学習規律についての保護者コメントがあり、今後の習慣付けを必要とする。読書活動に関しては、外部の読み聞かせが後半も充実した。個別の読書活動は秋の読書運動でのがんばりが見られたが、週末読書をより確実に実施することでもっと本と親しむ子どもを育てることができる。基本的な学習習慣や学習の基本の定着については、児童と保護者の意識の差が大きいというアンケート結果となった。児童のがんばりを保護者に伝えつつ、家庭学習等については引き続き保護者を巻き込んで行っていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 基礎・基本の定着	(5) 基本的な学習習慣の定着	「学習の約束」「学び方」の徹底	3	3
	(6) 基礎・基本の徹底と学習内容の定着	基本を徹底する授業		
4 学びの多面化・深化	(7) 多様な学びの保障	主体的に学び合う授業	3	3
	(8) 読書活動の充実	図書館まつり、各種読み聞かせ、読書運動等		

### 【3に関するデータ】

○基本的な学習習慣が定着しているか。  
(平均値 保護者3.11 児童3.65 教員3.10)

○計算、漢字、読み書きなど、学習の基本が身に付いているか。  
(平均値 保護者3.19 児童3.65 教員3.50)



【子ども同士の学び合い「青森視察」】

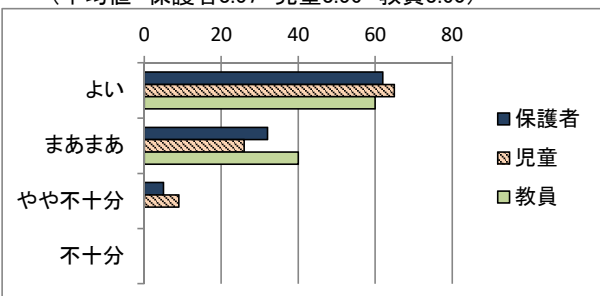
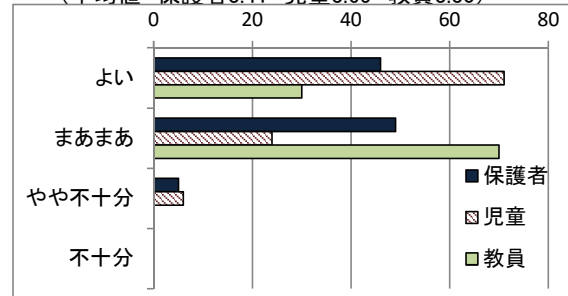
【「花矢図書館」ミラクルバナナによる読み聞かせ】

【グループかぜによる読み聞かせ】

### 【4に関するデータ】

○学び合いの充実が図られているか。  
(平均値 保護者3.41 児童3.65 教員3.30)

○読書活動が推進されているか。  
(平均値 保護者3.57 児童3.56 教員3.60)





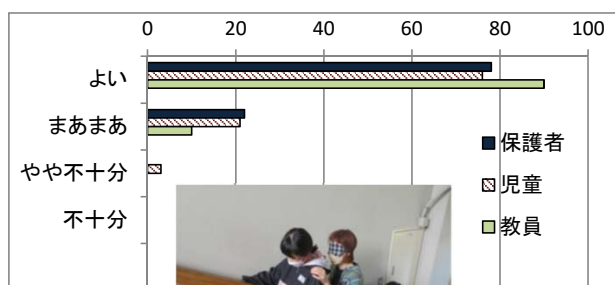
### Ⅲ チャレンジな子どもの育成

自己評価A	学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
	前期	年度	
挑戦意欲をもち、連携する力と創造性を発揮しながら主体的に活動する子どもを育てている。	良好	良好	保護者、児童共に高評価で、学校行事等を通して子どもたちが成長していることが分かる。今後はさらに充実・発展を図り、「課題対応能力」や日常生活に、具体的ににつながるように期待したい。
	良好	きわめて良好	楽しそうにチャレンジする子どもたちの様子が見え、成長が感じられる。保護者もチャレンジ活動の成果を実感していることがアンケート結果やヒアリングから強く伝わってくる。先生たちが子どもの意欲や「やってみよう」という気持ちを大事に、チームとして協力しながら手立てを工夫して取り組んでいるおかげである。子どもたちが活動を通して得た達成感や成功体験が自信となって、今後の成長を後押ししてくれると感じる。
自学己校評の価改の善概要と	【前期(→年度)】 6年生を中心としたチャレンジ活動の成功を目指し、全校児童、全職員が同じ方向を向いて取り組んだ。各学年に応じた校外学習や体験活動も充実していた。「チャレンジしたい」「自分たちでやりたい」という意欲がどの学年も高まっている。「課題を解決する力がついた」「周りを巻き込む力が付いた」など、自分自身にどんな力が付いたのかを自覚する児童が増えてきた。その力を、行事やイベントの時だけでなく、日常化できるよう、さらに繰り返し指導していく。また、SDGsはあらゆることにつながっているため、教師自身もSDGsを意識しながら様々な活動に取り組ませていきたい。		
	【年度(→次年度)】 前期の「ドキワク夏祭り」を終えても、4年生の福祉体験に関わる全校チャレンジや、中庭の再生プロジェクトチャレンジと、活動は途切れることなく後期も充実した。結果から、児童も保護者も教職員も、チャレンジ活動を通して楽しく学ぶ学校生活が実現できているという共通の認識である。児童の取組を常に支援、指導している教職員の満足度は特に高く、キャリア教育の実践の成果が表れたといえる。 次年度は定着している活動は継続し、新たなチャレンジに関しては児童の意欲を引き出しながら支援し、最高学年となる現5年生を		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 チャレンジ精神の高揚	(9)チャレンジ活動(学年・全校)の推進と充実	課題対応能力育成のための各学年及び全校の実践	4	4
	(10)創造性・連携する力の向上	創造性・連帯感を向上させる各種ミーティング 学級の係・委員会活動等の児童活動 SDGsへの取組	3	3

#### 【5に関するデータ】

〇いろいろな活動に勇気をもってつながり、チャレンジしているか。  
(平均値 保護者3.78 児童3.74 教員3.90)



【4年生によるチャレンジ「全校福祉体験」】



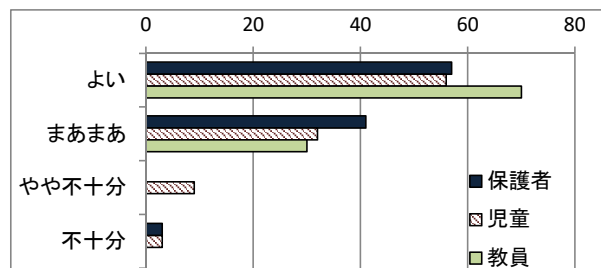
#### 【保護者アンケート自由記述より】

- ・チャレンジ活動では上級生が積極的に声をかけて案内してくれてすばらしいおもてなしだなと思った。楽しそうに活動しているのが伝わってきた。
- ・子どもたちはのびのびと様々なことにチャレンジし楽しく学ぶ学校生活を送れている。
- ・学校行事やPTAに参加すると子どもの成長を感じられることがたくさんある。
- ・行事、児童会活動等、子どもたちのがんばりがよく分かる。



【火災訓練「煙体験」】

〇いろいろな行事で、自己有用感やよさの発見、発揮できているか。  
(平均値 保護者3.51 児童3.41 教員3.70)



【あすチャレ！ジュニアアカデミー  
～パラリンピアンと交流～】



【5年職場体験】



【6年ユニセフ募金】



【全校チャレンジ「池プロジェクト」】



【SDGsを取り入れた手作り劇】

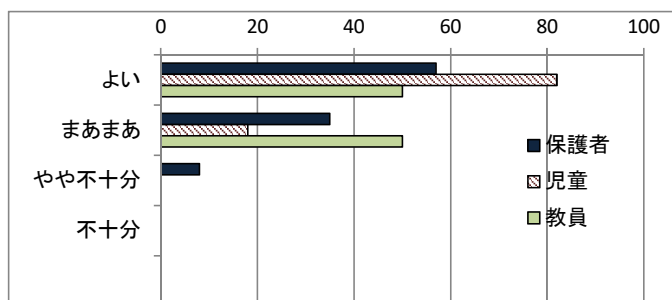
## IV 保護者・地域との連携

学校の取組がわかりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	自己評価A 学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
	前期	年度	
	良好	良好	地域の学校として連携した活動が多く、素晴らしい。また、学校が地域を大切にしていること、地域も学校を大切にしていることが分かる。保護者との関係も良好という印象である。今後もより前進を目指し、プレーキとアクセルのバランスよく取り組んでほしい。
	良好	良好	アンケートの数値や自由記述、ヒアリングなどの結果からも 地域、保護者との良好なつながりを感じる。常に学校は開かれており、地域の協力を得て子どもが育ち、また、学校が地域を活性化しているといえる。PTAの協力体制も心強い。
自己評価の改善概要と	【前期(→年度)】 より地域に密着した活動として、外部指導者を招いたクラブ、空き缶・ペットボトルキャップ等のリサイクル、花岡版子どもハローワーク、読み聞かせボランティア、花矢図書館司書による読み聞かせや団体貸し出し、家庭科ボランティアと、たくさんのごとに取り組んでいる。また公民館とタイアップして全戸配付している学校報を通じて学校行事等をお知らせすることにより、たくさんの方々に来校していただき、児童の見守りや支援等をしていただいている。今後も発信し続け、より地域の方々や保護者のみなさんとなつがった学校を目指したい。		
	【年度(→次年度)】 保護者との連携に関しては児童のがんばりや励ましに関するやりとりを密に取り合い、学級担任を中心に信頼関係を築くことができていた。また、職員間の情報共有も大切にしている。地域との連携では前期の、有志による花岡版ハローワークに引き続き、5年生の職場体験が行われ、地域の企業等の協力の下、花岡地区のそここそでできない経験をする事ができた。次年度も継続して実践していきたい。毎年の恒例である1年生の新春カルタ大会は今年度も充実した活動となり、メディアを通して外部にも発信できた。今後はこのように地域を学ぶ機会を他の学年でも設定していきたいという意見が出ている。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 情報の受発信	(11)各種たより等の充実と学校開放	学校報・学年だより等での発信 HPの定期的な更新 学校開放や保護者アンケートでの受信	4	4
7 地域との連携	(12)地域に対する愛着心や誇りを高める実践	学習・クラブでの人材活用 花岡ドキワク夏祭り、地域探検、職場体験、花小子どもハローワーク等	4	4

### 【6に関するデータ】

○学校報、学年だより、各種のおたよりは充実しているか。  
(平均値 保護者3.49 児童3.82 教員3.50)



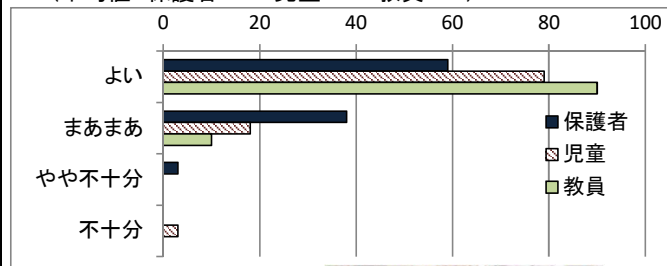
【家庭科ボランティアによる授業】



【学校薬剤師による薬物乱用防止教室】

### 【7に関するデータ】

○地域人材の活用、愛着心や誇りを高める実践がなされているか。  
(平均値 保護者3.57 児童3.74 教員3.90)



【年長児と新春カルタ大会】



【民生児童委員・孫守隊感謝の会】

【保護者アンケート自由記述より】  
・花岡小学校が一つになり、子どもたち、先生方、地域の方が協力していることにすごく感動します。



【5月～10月クラブ活動】 【PTA研修会「インターネットの健全利用」】 【県税事務所による租税教室】